

1月のどきどき

世界ジュニア選手権大会代表として 荒木梨沙選手(早来中2年)が出場

1月11日から13日までの3日間、青森県八戸市で行われたスピードスケートの全日本ジュニア選手権大会で、早来中学校2年生の荒木梨沙選手が女子総合優勝しました。



31回目を数える大会でしたが、14歳での勝利者は最年少記録とのことです。

安平町スピードスケート連盟の大野順一会長は「結果を知り感動して涙が出た。体が柔らかいのでまだまだ選手を選びました。帰町後のインタビューに「世界の厳しさを学んできた」と控えめな口調の中にも秘めたる闘志が感じられました。

今シーズンの活躍などを考慮した日本スケート連盟は2月22日から中国の長春で開催される世界ジュニア選手権大会の代表として荒木

新春の慶びを祝い、交流と親睦を深める

1月8日、追分ふれあいセンターい・ぶ・きで安平町新年交礼会が開催され、100名ほどの町民が集まりました。

主催した追分町商工会では、「町民の皆さんが一堂に会して新しい年を祝い交流と親睦を図ることができました」と話し、安平町の発展を願っていました。



道内一の花づくり

第27回北海道鉢花品評会に出品していた(有)早来アグリファーム(横澤健二代表取締役)のコチヨウランが昨年農林水産大臣賞を受賞しました。

全道のコンクールで最高の栄誉が贈られた横澤代表は1月28日に賞状とトロフィーを持って役場を訪れ、町長に報告に来ました。

早来アグリファームのほか、(株)エフアンドジー・クリエーションのポインセチアなど、安平町は道内一の優れた花づくりの町として高く評価されています。



早来庁舎町長室において

長寿の秘訣は何でも食べること

満100歳を迎えた早来大町在住の服部トミさんに安平町から長寿祝い金が贈られました。

12月27日に田上副町長が自宅を訪問し本人に手渡すと、服部さんは「どうもありがとうございます」と何度もお礼の言葉を繰り返し、「長生きの秘訣は何ですか」との質問には「好き嫌いなく何でも食べることです」と元気な声で答えていました。



息子さん夫妻と住む服部トミさん(中央)